

上沼の森植樹会に参加してきました

令和2年9月5日（土）、米代川源流自然の会主催による「上沼の森植樹会」が鹿角市花輪の柴内山国有林で行われ、会員、一般市民、官公庁、林業関係者らが参加しました。米代川源流自然の会では、市営牧場であった「上沼牧野」跡地を、かつての広葉樹の森に復元し、水資源のかん養や土砂崩壊防止に貢献したいと願って、平成17年から広葉樹を主体に植樹を進めています。宮野会長は「森林に興味を持ってもらう活動を続けて、大切な自然を後生に残していきたい」と挨拶しました。



(広葉樹の苗を植樹)

この日は霧が立ちこめ、肌寒い天候の中、参加者はブナ、ミズナラ、ヤマボウシ、ベニヤマザクラの広葉樹900本を丁寧に植樹していました。

こうした取組により、米代川源流の山が豊かな天然林に再生し、流域の河川や海が森林からすばらしい恩恵を受けられるようになることを願います。



(植樹作業の様子)